

## キツネノボタン (狐の牡丹)

名前の意味：きつねは、似ていても劣ることを意味する。ボタンに  
くらべ花が貧弱ひんじやくなので、この名がついた。

分類：双子葉類、キンポウゲ科、キンポウゲ属

(キンポウゲ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：フクジュソウ、クレマチス)

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた、溝

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：細かく切れ込んだの葉、ちぎ

ると出る白い汁しる、黄色い花、

金平糖状こんぺいとうの果実の集り



こんぺいとう  
金平糖

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁りべん、5裂れつ

花の時期：4—5月

食べ方：毒があり、食べるとおなかをこわす

見分け方：タガラシは、毛が少なく、花が小さく、果実の集りがラ  
グビーボール状。ケキツネノボタンは、茎くきの毛が多く、葉の切  
れ込みの幅が広く、果実の先のとがり方が弱い。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度そうごうなんいど ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)